

月刊 やちまなこ

2023.4.15 発行

No.305

4月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



エゾアカガエル [*Rana pirica*]

例年よりも暖かい4月に入り、湖畔歩道の雪解けは急速に進んだ。路肩に咲くキタミフクジュソウや露の臺の季節も、あっという間に終盤である。

湖畔の雪解けプールを訪れると、気の早いエゾアカガエルたちが、どこからともなく集まってきて繁殖期を迎えていた。

この時期「あの声はなんという鳥の声ですか？」という問い合わせを頂くことがある。学名が意味する「美しさ」は蛙には似つかわしくない、春を歌う声からきているのかも知れない。



【植物】

4月に入り、春を告げる花々が静かに咲き始めました。3月が暖かかったためか、例年よりも早く咲いたものが多かった印象だが、湖畔の開花はまだこれからが見頃となります。



キタミフクジュソウ (北見福寿草)
今季の開花は早かった気がする。3月上旬には咲き4月上旬には終わってしまった。



エゾエンゴサク (蝦夷延胡索)
今季は開花が遅れ気味?! これからが見頃となります。花言葉「妖精たちの秘密の舞踏会」



アキタプキ (秋田路)
湖畔歩道にも多くが観られるようになってきた。春、路の臺と呼ばれる。花言葉「愛嬌」。キク科。



ギョウジャニンニク (行者大蒜)
陽当たりのよい斜面に出ていた。香りはニンニクよりはニラに近い。ヒガンバナ科。



バイケイソウ (梅蕙草)
陽当たりのよい山裾ではかなり伸びてきているが、湖畔の物はまだ頭を出したばかり。



フッキソウ (富貴草)
蕾をつけたものが増えてきた。初夏に白い花をつける。花言葉「良き門出」ツゲ科。

【野鳥】

例年と比べて暖かい4月。野鳥たちの恋の季節が最盛期を迎えています。この時期はなんとと言ってもアオサギの巣入りが賑やかな季節、婚姻色に彩られたつがいは、嘴はピンクっぽくなり、羽根色もコントラストが強めで、まるで別な鳥のよう。水鳥たちは、これから北へ北へと移動するものが増えてくるだろう。気の早い夏鳥も？！



アオサギ (塘路湖畔)

今季の巣入りは3月中旬でした。アオサギコロニーは、これから賑やかになります。



オオヒシクイ (シラルトロ湖)

秋から姿を消していたヒシクイたちは、これから北方へと旅立ちます。カモ科。



カワイサギ (シラルトロ湖)

飛んでいる雄は白っぽくみえるが、湖上に降り立つと顔の黒が目立つ。カモ科。



タンチョウ (コッタロ湿原)

ヨシ原にいた番い。そろそろ営巣地を探しているのかもしれませんが。ツル科。



エゾヤマセミ (シラルトロ湖)

水辺が解氷したことで、早速、餌となる小魚を探しにきた。大型のカワセミの仲間。



シロハラゴジュウカラ (塘路湖畔)

樹を垂直に登り、キツツキのような身のこなし。「フィフィ」と鳴くことが多い。



エゾライチョウ (塘路湖畔)

少し山側へ入ると出会うことが多い。釧路湿原では珍しい野鳥。キジの仲間。



シメ (塘路湖畔)

センター横のアカエゾマツ樹上にいる事が多い。ちょっと目つきの悪い鳥。アトリ科。



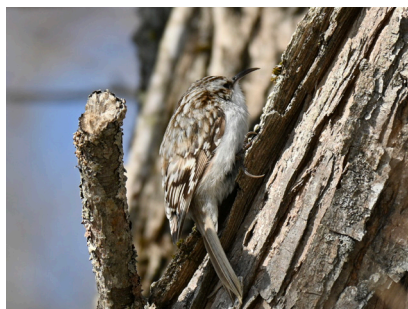
ノスリ (シラルトロ湖)

風が強い日以外は、電信柱や電線の上でじっとしている事が多い猛禽類。タカ科。



ヤマゲラ (塘路湖畔)

背中のウグイス色が美しいキツツキ。♂は前頭部に赤い部分があるので、これは♀。



キタキバシリ (塘路湖畔)

「ツリリリィ」という特徴的な声で存在に気付くが、幹と同色なので見つけづらい。



モズ (コッタロ湿原)

夏鳥。一部越冬するものもいる。後者だろうか？「はやにえ」の犯人。モズ科。

【両生類・昆虫類】今季は4月上旬にエゾアカガエルの大合唱が始まった。陽気に誘われ昆虫たちも活動を始めた。



エゾアカガエル (塘路湖畔)
湖畔の雪解けプールでも春の合唱が始まった。気持ち良さそうに浮かぶ個体 (4月上旬)。



エゾアカガエル卵塊 (塘路湖畔)
合唱のあと、卵塊が確認された。雪解けプールが干上がる前に蛙になれるのだろうか?!



キタサンショウウオ卵塊 (釧路湿原)
卵塊は見つけやすいが、成体は夜行性のため、なかなかお目にかかれない。



ヒメアカホシテントウ (クチョロ線)
ヤナギ類の樹皮でじっとしている個体が多い。非常に小さなテントウムシ。



エゾベニヒラタムシ (塘路湖畔)
枯れたカラマツの樹皮下にいた成虫。樹皮下という環境に適した平らな体をしている。



エルタテハ春型 (塘路湖畔)
成虫で越冬する蝶。暖かい日の遊歩道では多くの個体が確認された。タテハチョウ科。

5月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

春の展望台散策会

[日 時] 5月20日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] サルボ・サルルン展望台周辺 (集合はサルボ展望台駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

早朝バードウォッチング

[日 時] 5月21日(日) 8時～10時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 3/15(5:35,17:28). 3/31(5:06,17:46).4/14(4:41,18:06)

～指導員のひとり言～

■『釣り竿とは、一方の端に釣り針を、他方の端に馬鹿をつけた棒である』(イギリスの諺より)。塘路湖のワカサギシーズンも終わり、氷が消えるのと同じくしてアメマス狙いの釣り客が連日のように湖で竿を振っている。どんな悪天候でも姿を見かけるのはイギリスの諺通りなのであろう。かくいう自分も小学生になってすぐに釣りを覚えて45年。途中ブランクはあったもののいまだ釣りをやめる気配がない。日本にも諺があった。「馬鹿につける薬はない」と。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～17:00

(11月～3月 10:00～16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料